

# 夕刊 磐城時報

日八廿  
印刷所 加納活版所  
印刷部 加納活版所  
發行所 磐城時報社  
電話 一三二五  
廣告料 一行十二字五十五錢  
日刊(日曜除日) 翌日休刊

## 總務部長の説得で 合併反對論緩和

### さのふ平窪校で 村代表者と懇談

平・平窪の合併問題は平窪の他反對の人々を集め懇談の處分問題が出て一頓性の必要を力説し村民の論議にからちとなつたので縣當局はなつてゐる村有林の處分案から合併を懇談する爲め二については山林課長から種十七日出席、總務部長、東々説明する處があつたので郷課長、孕石山林課長の三反對意見も緩和されて來た氏が來平、平窪校に村議を

## 海路小名濱港に 北海炭航送

### その結果注目さる

小名濱商港は明年度に完成今回の海路航送炭は平町阿するが、之を機として三井部石炭店に配給されるが、物産では北海炭を室蘭から阿部政右工門氏は語る。小名濱港に海路輸送の計劃をたて貨物船松山丸に三百八十噸を積んで二十八日朝出港、三十日午後が三十一日朝小名濱港に入港する。この試験航送は小名濱港岸護壁に對する接岸荷役の試験ともなり、その結果を注目されてゐる。その結果如何では常磐炭の全部が高率な鐵道輸送によつてゐる現在から推して北海炭が進出する可能性を興へるものであ

## 贈答廢止

### 藝妓の

間平町八幡小路で縣から成田技手、佐藤部長が出張し行つてゐる、受檢車四十五臺である。  
らう、荷ほ始めて貨物船が四倉警察署では昨二十七日入港するとの通知に接した午後一時より同署會議室に小名濱では二十七日小野町於て管内に於ける旅館、料長、西本町議、福來築港所理業者等に對し毎年行はれ長等協議の結果荷下しに出來るだけの利便を興へる。理屋、旅館等に對する歳暮並に年始贈答品を廢止するやうに命じたが、もし行なひ各警察署管内の自動車々々た者からは金五圓を取る體検査は二十八日から三日ことに決定した。

## 丸焼の一家に 平署員が同情

### 平一校兒童も醜金

二十七日の晝丸焼けにあつたのに同情した平署の警た平町古銀治町日雇業失業者達は互に醜金し身の廻り幸太郎(五二)は第二小學校のものを買ひ興へた上衣類四年生の長女キョ(十一)と等を恵んだ。又キョさんの親子二人きりの暮して昨年同級生平第二校四年生一同五月キョの母が死去したのは二人二錢宛を集め慰問しで父を扶けて働いてゐた孝た。行娘であるが、丸焼けとな

## 川部の村長選挙 無効と決定

### 近くやり直し

川部村では去る十五日村長類を突き返されたので芳賀選挙村會を開き元助役と現助役が出縣して事情をきく助役派が決戦投票を行つた、議長の名で提出すべき結果加藤元吉氏が當選、役村會の議事報告書を村長代選出た處から選法と認められず結局近く村會だから村會と認め難いと書をやり直すことになつた。

## 老賊同僚をかばふ

### 泣いて警官に嘆願 平署司法室の愁嘆場

鎌田町の木賃宿三河屋で捕日暮しにも苦しんでゐるとはれた相馬郡中村町生れ前の事を聞いた引地は涙をう科七犯金澤忠吉(三九)と共かべ作ら「私は老ひてゐる謀の老賊宮城縣名取郡岩沼すからごん罪でも受けま町生れ前科十八犯引地要助すその代り年若い金澤を助(六三)の兩名は昨年五月相けて下さい」と哀願し更に前後して福島刑務所を出獄首をうなだれた金澤に對しするや兩名共謀して濱通り「今度こそ改心して苦しん一帶を荒し廻つたものだがでる妻子の面倒を見てや申立に不審の點があるのだからね駄目だ」と懇々さ追窮した處金澤の實家は幼したので金澤も泣いて更生子四人を抱えた病妻がそのを誓つた。

## 故郷戀しとから ペタルを踏んで七十里

### 十一歳の少年平で迷ふ

二十七日午後三時頃平町驛前を横須賀の鑑札をつけた自轉車を持つてウロウロしてゐる少年を平署員が発見事情を聞いた處山形縣最上郡新庄町在炭礦夫修五郎四男佐藤修吉(一一)で十日程前横須賀市の某湯屋に小僧に買は

## 店子を訴ふ

### 名譽毀損・器物毀棄で

平町新川町十四林秀壽(五〇)は此程店子の鯨岡平三郎(五五)を平署に器物毀棄、名譽毀損で告訴した。昨年五月あんま稼業をしてゐる平三郎の長女イチ(二五)は宇都宮で同稼業をしてゐた大越忠吉(二

## 公判傍聴

### 中堅農民

石城中堅農民講習生約九十名は二十八日柴田技手の引率で昭和人類會社荒しの公判を傍聴した。  
非常時日本  
批判說演會  
改界春秋社講演部長小岩章次氏は二十九日午後六時半から平町聚樂館で「非常時日本批判說演會」を開くが演題左の如くである。  
二、二六事件と議會政治の危機、中央政界の動向を告ぐ、國防問題、歐洲の動き、國民生活、政黨一軍部、官僚、疑獄事件、網紀問題、滿洲事變に動きし五十萬元の真相。  
四倉信用總會  
六理事・紀念品  
保證責任四倉信用販賣購買利用組合の第十六回定期總會は去る二十六日午後一時より四倉小學校講堂内に開催したが十五週年紀念とし元組合長谷川豊之助氏同専務理事豊田盛治氏に對目下住居不定前科一犯土工し紀念品を贈り勤続十七年橋本傳三郎(五三)は一昨久の事務員宮内篤二氏に紀念品の頒布に於て外套其他數點品並に表彰状を贈つた、表を寄附したること四倉署に彰した總會では信用評定員探知せられ捕はれ目下取調中である。

## 小港氏夫人逝く

### 四倉町本町柏屋旅館小港宗吉氏夫人

四倉町本町柏屋旅館小港宗吉氏夫人は女史は十年前發病してより以來静養中の處去る二十五日午後二時十五分遂に永眠した。葬儀は明二十九日午後二時自宅出棺原田海嶽寺に於て佛式に依りて葬儀を營む由であるが、當日の盛葬を豫想せられてゐる。

## ライオンキ

### 大景品付 特賣大賣出し

ニオンス(入金三十錢)御買上の方へ抽籤にて左記景品進呈  
一等 ライト高年筆……一本  
二等 ライト二色シャープ一本  
三等 ライト自由日記……一冊  
四等 セルロイド  
ボケットカレンダー一個  
▲外套を盗む 本籍栃木縣上都賀郡南原生れ橋本傳三郎(五三)は一昨久の事務員宮内篤二氏に紀念品の頒布に於て外套其他數點品並に表彰状を贈つた、表を寄附したること四倉署に彰した總會では信用評定員探知せられ捕はれ目下取調中である。

### しもやけ家傳藥

是マデしもやけハ腰カクナラネバ治ラヌモノト語ラメテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用デクすれたしもやけモ忘レタ様ニ完全ニ治リマス。

現今ノ塗藥トハ異リ毒法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。

しもやけハ寒サノ爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノデ塗藥等デハ決シテ治ルモノデアリマセン、又くづれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ増シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中心地真イ巻注ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子様方ニモ喜バレ如何ニくすれたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス、是非一度御試シ下サイ

東京丸井邦寶堂  
平町一丁目  
福島兩縣特約 **伊藤石炭店**

### イウキサロン

男給の店

食事 喫茶 酒場

町田・平 (二五三電)

### 女中さん 至急入用

年齢問はず

平町二丁目

**大村屋旅館**

電話一七五番

二百年の歴史を有する

### 家傳靈藥 消食散

一名かけの藥

代理店 丸龜商店  
平町大町 電話一三三番

### 外科花柳病専門

入院隨意

平町六丁目

**木村外科醫院**

電話三〇九番

新設

### 内臓外科

エツキス光線

長院 安齋徹

産婦人科 醫學士 黒澤廣

平町田町

**安齋醫院**

電話四七五

### 長唄

を親切丁寧ニ教授致しますから希望の方は御出で下さい。

「子供さんも初心者も」

御知らせ

四倉町福田町一三二 (額賀醫院向エ西)

長唄 **杵屋正美**

### 開院

皮膚科 泌尿器科 花柳病科 専門

診療 午前八時ヨリ 午後九時マデ

平町田町(山内醫院跡)

**江尻醫院**

入院隨意 電話六九一

醫學博士 江尻伊三郎

平驛前

### 昭和タクシー

電話三四〇三番

平町田町 (電話五二三番)

### 高久病院

醫學士 高久忠  
新潟醫學士 赤羽清  
藥劑士 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

### 外科専門 上田外科

平町南町

入院應需

電話一二九番

荊妻ヒロ儀永々病氣靜養中の處藥石効なく一昨二十六日午後二時十五分遂に永眠致し候間此段以紙上謹告仕候 敬具

追而送葬の儀は明二十九日午後二時自宅出棺海藏寺に於て告別式相嘗申すべく候

昭和十二年一月二十八日

四倉町本町

喪主 小港 宗吉  
親戚總代 本馬左源次  
高野平次郎  
友人總代 吉田壽三郎  
金成岩吉

### 吸入用酸素度99%

モノサシ  
ハカリ  
マス

体温器  
寒暖計

●寫真機  
●秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス

材料一式

**關内藥局**

電話四〇番

親切は「理髮・東京」の出発点  
誠實は「理髮・東京」の生命線

理髮 **東京**

平町三丁目警察署通り